

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.199 (2009年8月31日)

発行人・川越敏良 編集人・小松義明

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう

9月 4日(金) 第7回役員推薦委員会 10時(連合徳島)

9月 7日(月) 中小労働対策本部幹事会 18時(連合徳島)

当
面
の
日
程

「政権交代」果たす！民主308 — 連合徳島推薦、全員当選 —

8月18日公示、8月30日投開票で施行された第45回衆議院選挙は、民主党が絶対安定多数を超える308議席を獲得する結果となった。

徳島県内においても、1区「仙谷由人」候補は小選挙区では過去最高の76,764票を獲得し、圧勝で6選を果たした。2区の「高井美穂」候補は、子育て支援や社会保障の充実などを訴え、各年代層に支持を広げ、85,290票を獲得し、小選挙区で初当選を勝ち取った。3区の「仁木博文」候補は、政権交代の必要性を訴え、鳩山代表や岡田幹事長ら党幹部の応援を受けて互角の戦いに持ち込み、前回と比べ大幅に得票(80,359票)を伸ばすも、わずか1,200票の差で惜敗した。が、比例代表四国ブロックで復活当選を1位で果たした。これで、連合徳島が推薦した3候補者全員が勝利することができた。県内の政党別衆議院議員の議席は、解散前の自民4、民主2から民主3、自民2となり、逆転を果たした。

4年前の郵政選挙で惨敗を喫して以

来、小泉、安倍、福田、麻生と4代続いた自公政権のもと、2年前の参議院選挙で与野党逆転を果たしたものの、再三にわたる衆議院における2/3以上の議席数による再議決など、自公政権の強引な政権運営のもと、苦難の4年間を過ごしてきた。この間、各種の格差の拡大や雇用状況の深刻化、社会保障のセーフティネット機能の劣化などがもたらした国民の不安、不信の高まりが、自公政権の退場を願う強い流れにつながった。

この流れの中で、民主党、社民党、国民新党の3党は、政権交代を訴え、「国民の生活が第一」の政策の基本軸への変革を訴えつつ選挙戦を戦い、連合も「政権交代の夏」を合言葉に懸命の活動を展開してきた。そして、その結果、連合結成以来20年、諸先輩の連合結成時の政権交代可能な政治体制の構築という強い願いが、実現した。

連合も、この選挙結果におごることなく、また、連合の政策の基本的スタンスをふまえつつ、政権交代に大きく係わっ

てきた責任を自覚していかなければならない。

今回の選挙は、解散後40日と過去に例のない長期の選挙戦となり、8月の猛暑の中、総力を挙げて闘いを進めていただいた各構成組織・地域協議会の皆様に深く感謝申し上げますとともに、ご支援・ご協力をいただきました組合員・ご家族・退職者の皆様に対しても心より感謝を申し上げます。

【開票結果】

徳島1区

当	76,764	仙谷 由人	民前
	39,780	岡本 芳郎	自前
	10,275	岡 佑樹	無新
	8,313	古田 元則	共新
	1,395	近藤 彰	諸新

徳島2区

当	85,290	高井 美穂	民前
	68,430	山口 俊一	自前
	2,134	梅本 芳郎	諸新

徳島3区

当	81,581	後藤田正純	自前
比	80,359	仁木 博文	民新
	1,938	小松 由佳	諸新

